

クラスの様子 (7月号)

● ひよこ組

今月の目標 : ひとりひとりの体調に合わせた食事、排泄、睡眠、着替えに気を配り、快適に過ごせるようにする。

- 最近のひよこ組は、お友達との関わりも増え、周りの出来事に興味を示したりするようになってきました。お友達が楽しそうな事をしているのを見て真似をしたりする子どもや、保育士の楽しそうな声を聞き集まって来る子どもなど、今までに無かったことが見られるようになってきました。お互いがお友達の存在を意識しながら、成長していく大切な時期なので、しっかりと保育士も関わっていきたいと思います。



志賀



● りす組

今月の目標 : 水の感触の気持ちよさを知る。: 様々な素材に触れ、色々な発見をする。

6月14日のミニ運動会では、たくさんの人に緊張する子どももいましたが、競技終了後、旗を振って笑顔で顔を見合やす、子ども達とおしいちゃん、おばあちゃんがいて、雰囲気はほんわりとした良いミニ運動会になったと思います。ご参加、ありがとうございました。

お部屋では父の日、七夕の製作で絵の具を使いました。筆に絵の具をつけ、和紙に置くとじんわり色が広がっていきます。その様子を不思議そうに眺める姿が印象的でした。大人にとっては当たり前のことでも、子どもにとっては不思議なことで、不思議なことを見つけると、わくわくし、楽しく過ごせるのだと思います。これからもいろいろな事に挑戦し、不思議なことをたくさん探していきたいです。

片岡



クラスの様子(7月号)

● 赤うさぎ組

今月の目標 : 水遊びを通して季節を感じ、楽しんで遊ぶ。

梅雨の時期ですが天気が良い日が多く、たくさん散歩に出掛けることができました。カニを探しに行ったり、お面をかぶって行ったり、グループで分かれて行ったりと様々な散歩を楽しみました。散歩に行く中で友達との関わりも増え、手を繋いで歩く姿も増えてきました。また、一人ひとり言葉が増え、発見したものを伝え合い共有したり、会話を楽しむようになってきています。子ども達の言葉の一つひとつに耳を傾け、会話する時間を大切にしていきたいと思います。

平塚



● 白うさぎ組

今月の目標 : 友だちと一緒に水や泥に触れて楽しみながら遊ぶ

暑い日が続いたため外遊びの時間を少し短くし、ゆったりと過ごしました。

園庭では以上児のお兄ちゃん、お姉ちゃんのサーキット遊びを見て興味を示し、挑戦する姿がありました。やっていることを真似してみたり順番を守ったりとお兄ちゃん、お姉ちゃんの姿がとても良い刺激となっています。これからも安全に十分配慮しながら身体を動かす環境を作っていきたいと思います。

谷口



クラスの様子(7月号)

さくら組

- 今月の目標 : 友だちと一緒に、水遊びやプール遊びのルールを知りながら全身で楽しむ。



6月は子どもたちの楽しみにしていたミニうんどう会があり、競技も楽しみながら取り組んできました。雨で一度は延期しましたが、子どもたちの思いのこもったてるてるぼうずが見守る中、無事行うことが出来ました。また、日々の生活の中では外での活動が多く、園庭遊びでは、周りにいる年上の子や友だちの姿に刺激を受け、見て・真似て・チャレンジし、お散歩では、年少児を気遣い、言葉をかけてくれる年長児や年中児の優しい

姿がありました。

これからますます暑くなるので、体調面・安全面に十分配慮して、水遊びやプール遊びを楽しんでいきたいと思ひます。(伊達)

くぬぎ組

- 今月の目標 : 身体を活発に動かし、遊ぶことで体力の向上を図る
季節の遊びを通して友達と関わることを楽しむ

ミニ運動会を通して遊んでいた“じゃんけん列車”から始まり、園庭ではお友達を誘いあってカゴメ、むっくりくまさんなど集団遊びをする子ども達の姿が多く見られるようになりました。生活の中でも安心した関係の中で楽しく給食を食べる姿など、子ども達同士の“信頼関係”が感じられます。気持ちの違いでケンカをすることもあります。ケンカをすることで「こんな気持ちの子もいるんだ」と感じ、他児の存在、関わり方を知っていきます。異年齢での関わり、同年齢での関わり、それぞれの関わりの中で子ども達自身が自分にとって“居心地の良い場所、居心地の良い関係”を見つけられる様に見守っていきたく思ひます。(田中)



とちのき組

- 今月の目標 : 今の時期にしかできない遊び、プールや水遊びを存分に楽しむ。
食事や休息も大切に、しっかりとした身体づくりをしていく。

6月は良い天気の日が続き、子ども達は毎日、しっかりと体を動かして楽しそうに遊ぶ姿がありました。戸外活動の時間には、植物や生き物など、たくさんの自然と触れ合う時間も多く、その中で子ども同士の間を深めたりと、子ども達は遊びの中で様々な経験を重ねています。これからも色々な活動の中で、「子ども同士・子どもと保育士」との間を深めていくことができるといいなと思ひます。(安田)

